

第3章 参加者募集と事前準備

3.1 参加者募集

本年度は、事前に募集対象のクラスを決めた。そして、各対象クラスに実習生（各一人）がチラシと申し込み用紙を持参し、アナウンスに伺った。本年度の日本語実習コースは初中級レベルの学習者を対象者としているため、上級学習者の日本語クラスでの募集は行わなかった。

訪問日時の調整は、全学標準初級・集中中級コース(担当：李澤熊先生)は高橋が、初級日本語特別コース(担当：鹿島先生)は梁が、G30b クラス(担当：徳弘先生)は梶原が連絡をとって行った。

3.1.1 参加者募集係の仕事

本年度の参加者募集係が行った仕事は以下の通りである。

- ①チラシ作成
- ②申し込み用紙の作成
- ③用紙（①と②）の原本を実習生全員にメールで添付送信
- ④チラシと申し込み用紙の印刷と院生室への配布

3.1.2 参加者募集の流れ

日付(2012年)	内容	チラシ・申し込み用紙の配布先	担当実習生
1月23日(月)	記載内容の決定		全員
1月24日(火)	チラシ・申し込み用紙の作成		筒井
1月25日(水)	用紙の印刷・アナウンス	SJ200・IJ112	筒井・飯田り
1月27日(金)	アナウンス	SJ102・G30	高橋・梶原
1月30日(月)	アナウンス	IJ111a・IJ111b・SJ200	久野・川口・梁

3.1.3 チラシ作成

募集対象のクラスを第一回目（2012/01/23）のミーティングで決定した。

募集対象のクラスを初級終了程度として募集をかけることにした。G30のaクラスにとってはレベルが高いため今回は募集をしなかった。また、全学集中初中級にとってはレベルが簡単ではあるが、復習をしたい学習者がいると見込んでアナウンスをした。初級日本語特別と全学標準初級は今回の募集対象クラスのレベルであると判断した。

【募集対象者の日本語クラス】

- ①初級日本語特別（11a、11b）
- ②G30bクラス
- ③全学標準初級（SJ102、SJ200）
- ④全学集中初中級（IJ111、IJ112）

上記のクラスにチラシを配布するため、チラシを募集対象のクラス訪問日（1/25）までに作成した。記載内容は、これまでの実習報告書のチラシの記載内容を参照しながら、実習生全員で確認し合った。記載内容は、下記の通りである。

【記載内容】

- ・期間
- ・時間
- ・場所
- ・対象者
- ・参加すると何ができるようになるのか。
- ・連絡先
- ・申し込み方法
- ・コース概要
- ・目標
- ・参加者へ一言

実際に学習者に配布した実習のチラシについては、資料7「実習のチラシ」を参照のこと。

3.1.4 申し込み用紙の作成

参加者募集のアナウンス時に申し込みがあることを想定して、申し込み用紙を別紙で用意した。募集アナウンス時以降にも応募ができるように、学習者との連絡窓口を一つ設けて、メールアドレスと申し込み方法をチラシへ記載した。

申し込み用紙の記載内容は下記の通りである。

【記載内容】

- ・氏名
- ・国籍
- ・所属コース名：(○をつけてもらう)
- ・連絡先：(メールアドレス)

実際に学習者に配布した申し込み用紙については、資料8「申し込み用紙」を参照のこと。

3.1.5 まとめ

参加者募集係の仕事は、主にチラシと申し込み用紙の作成であった。これまでの実習で使われたチラシ等の記載内容を参考にしながら作成したので、すぐに作成することができた。しかし、いくつか反省点があった。反省点は以下の通りである。

1) 参加者募集

日時調整を行ってくれた実習生がいたため、全学標準初級、全学集中初中級への日時調整は問題なく行えた。しかし、各訪問先の授業の担当教員との連絡が早くできた実習生とそうでない実習生がいたので、もっと早めに訪問先の担当教員と連絡がとれるように事前に連絡先も確認しておくとうよかった。

今回は、予想以上に応募してきた学習者が多く、学習者のレベルも統一されていたため、募集の対象クラスの設定に大きな問題がなかったと思われる。一方、募集開始時は、学期の終わり頃であったため、コースに参加したくても、すでに帰国予定を立ててしまっていた学習者もいた。従って、募集をより早めに行うべきであった。

2) チラシ

授業の開催場所は振り仮名を付けて記載しておいたのだが、参加者にとっては、文系総合館は日頃使い慣れた場所ではなかったため、英語版をつけるともっとよかった。もしくは、説明を加えるか、初日は一緒にその場所まで案内するなどの支援が必要であった。

3) 申し込み

今回は、書く負担を減らすために「コース名」の欄は○をつけるようにした。しかし、学生自身が自分の在籍する日本語のコース名を分かっていなかったため、学習者が履修している授業の曜日、時間、担当教員名を聞いて実習生が書き込めばよかった。メールでの申し込みについても、履修している授業の情報を同様に書いてもらうようにすればよかったであろう。また、今回は申し込み時点で、学習者の専門分野までは問わなかったが、実習生がより具体的に授業計画を考えるために、事前に学習者の専門分野を把握していても良かったかもしれない。いずれにせよ、学習者について早めに情報を集めることが望ましいであろう。

4) アナウンス

本年度は、クラス説明会などはせず、クラス訪問であった。担当実習生が各訪問先でアナウンスした。アナウンス時には、予想外の質問もあったようだ。例えば「宿題の有無」、「無料なのか」、「欠席してもよいのか」などである。事前にチラシの内容をアナウンスすることを確認していたが、もっと学生の立場にたってどのようなことをアナウンスすべきなのか検討する必要があった。

(文責：筒井)

3.2 事前準備

今回の実習では文系総合館の 609 教室を使用した。机と椅子の数が想定される学習者の数よりも少なかったため、急きょ当日の朝、実習生が 623 教室から机と椅子を運び入れた。また、留学生にわかりやすいように、609 教室の前に、日本語の授業の教室がここであるということを掲示して示した。机と椅子以外に、オリエンテーション前に教室内に準備したものは無かった。

机の移動を当日ではなく、前もってできるとよかったというのが反省点である。

(文責：久野)

3.2.1 学習者情報

(1) 応募者情報(18名)

本年度日本語教育実習には、18人の学習者からの応募があった。18人の内には、中国国籍応募者7名、ウズベキスタン国籍応募者2名、韓国国籍応募者1名、ミャンマー国籍応募者1名、イラン国籍応募者1名、トルコ国籍応募者1名、インドネシア国籍応募者1名、フランス国籍応募者1名、インド国籍応募者1名、ベトナム国籍応募者1名、モンゴル国籍応募者1名が含まれている。それから、応募時在籍の日本語クラスについては、集中コース IJ111a 在籍者6名、集中コース IJ111b 在籍者4名、G30b クラス在籍者2名、SJ200 在籍者1名、SJ102 在籍者1名、SJ200 終了者1名、全学日本語：標準コース：初級・初中級在籍者1名、不明1名、標準日本語初中級修了者1名となっている。

(2) 授業参加者情報

初日の授業に出席したのは、18名中10名であった。第一週の授業に出席したのは、11名であった。その内の一人は、募集時には応募していなかったが、2月16日の3限の授業を聞きにきた学習者である。第二週の授業に出席したのは、7名であった。なお、上記の人数には、コースを途中で抜けた学生も含まれる。途中でコース参加を

やめた学習者にその理由について聞くと、「ビジネス日本語を学びたかった。」、「授業の内容が難しく、理解できなかった」、「授業の内容は簡単すぎる」など様々であった。3週目の授業に出席したのは、7名であった。最後、本年度日本語教育実習のDVDを配布したのも、この7名であった。2012年日本語教育実習コースの主要参加者7名の情報は、次の表にまとめた。

2012年日本語教育実習コースの主要参加者情報の一覧表

名前	国籍	所属と専門	身分	所属する日本語クラス	既習歴	進路
Rさん	中国	法学研究科・民法	大学院生 NUPACE	集中コース： IJ111a	5ヶ月	帰国
Tさん	中国	法学研究科・民事訴訟法	特別研究員	集中コース： IJ111a	9ヶ月	帰国
Jさん	中国	環境研究科	大学院生	SJ200	8ヶ月	在学
Aさん	トルコ	工学部・電気電子	学部生 NUPACE	集中コース： IJ111a	5ヶ月	帰国
Eさん	インドネシア	工学部・IT	学部生 NUPACE	集中コース： IJ111a	5ヶ月	帰国
Lさん	フランス	数理研究科・数学	特別研究員	SJ200を修了	不明	在学
Qさん	ベトナム	GSID・経済	大学院生	SJ102	4ヶ月	在学

(文責：梁)

3.2.2 物品購入

物品購入については特に係を決めていなかったため、実習期間中に仕事の発生しないウェブ係が会計係を兼任した。

物品購入は全部で2回行われた。1回目は、コース開始2日前に授業準備に使用したい物品購入を伊藤先生に依頼し、13日に生協にて必要なものを購入した。必要なものは実習生が先生と一緒に生協に行って選んだ。実習が進むにつれ足りないものが出たので、24日に2回目の物品購入を行った。この時も実習生が実際に生協に行って選んだ。来年はより余裕をもって行動することが望ましい。

購入したものは、コンピュータールームの棚に置いてある青い袋の中に保管されている。購入品目及び会計報告書は以下の通りである。

2012年 日本語教育実習 購入品目一覧

購入日	購入品名	数量	単価	金額	備考
2月13日	COOP フラットファイル 5冊パック	3	325	975	
	画用紙 四つ切	20	32	640	
	紙文 色上質紙 50枚入り A4 水色	1	189	189	
	紙文 色上質紙 50枚入り A4 桃色	1	189	189	
	紙文 色上質紙 50枚入り A4 黄緑	1	189	189	
	紙文 色上質紙 50枚入り A4 黄色	1	189	189	
	マルアイ 色紙	5	84	420	
	ニチバン 両面テープ ナイ スタック	1	420	420	
	三菱鉛筆 ピースマーカー 8色セット	2	806	1612	細いカラー サインペン
	ゼブラ マーカー ハイマッ キー黒	5	126	630	マーカー黒
	ゼブラ ハイマッキー	2	126	252	マーカー青
ゼブラ マッキー 太/細	2	126	252	マーカー赤	
2月24日	マクセル DW120WP10S	2	2280	4560	DVD-RW
	合計	46	5081	10517	

(文責：久野)